

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	国民宿舎さんべ荘		No.	56	担当部署名	産業振興部観光振興課	
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設						
小分類	観光・保養施設						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名			計画期間		
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由	改定・見直し 時期	

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	②民間移管
『該当する』を 選択した理由	本施設は三瓶地域の観光振興において大規模宿泊施設としての重要な役割を果たしている。 2019年度、長寿命化等を目的とした大規模改修工事を竣工し、入込増に備えている。 ②実質的に改修工事に投じた費用を回収後、現指定管理者を含めた民間移管を検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
 ※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
独自	利用開始							
	用途廃止・解体工事							
指定管理者による運営								
	民間移管							
評価が達成される年度		2040年度			←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	民間移管を目標に計画的に施設維持、改修を進めてきた。		2019年長寿命化工事完了
第2期	2022年度	指定管理者による運営	進捗していない	大規模なリニューアルを行ったものの、機械設備を中心に改修できていない部分も多く、民間に移管できる状況にない。
	2023年度	指定管理者による運営		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 62 年
建物延面積	3,575.91 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市三瓶山周辺観光施設の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	三瓶山周辺の豊かな自然環境を生かし、市民及び観光旅行者に自然に親しむ場を提供するため、大田市三瓶山周辺観光施設(以下「観光施設」という。)を設置する。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	6,000,000円	R3納付金	使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		6,000,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	3,590,840円	修繕料、工事請負費	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	5,415,721円	その他負担金、火災保険料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		9,006,561円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-3,006,561円	市民一人あたり税金充当額	-92円/人
	延床面積あたり税金充当額		-841円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-8,237円/日

(3)利用人数

項目	貸館の有無		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	あり	なし							
年間利用人数			83,894	改修工事のため休館	61,039	70,876	62,322	55,626	112%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	三瓶観光リフト			No.	57	担当部署名	産業振興部観光振興課
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設						
小分類	観光・保養施設						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名				計画期間	改定・見直し 時期
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由	

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	②民間移管
『該当する』を 選択した理由	本施設は三瓶登山において、特徴的な施設であり、重要な役割を果たしている。 2019年度は、モーター故障のため運休し大規模改修工事を実施した。今後は、不用となった老朽施設の解体が必要である。 2022年10月より新たな指定管理者となった。老朽施設、休止施設が存するため、不用施設の廃止を検討中（単費対応の可能性あり）							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
 ※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	指定管理者による運営								
	民間移管								
評価が達成される年度		2029年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 計画的に施設維持、改修を進めてきた。 ミラドールさんへは管理所管課が変更となり、石見ワイナリーへ貸付している。		現在、運休中の第2リフト、第3リフトを含め、不用施設の解体工事等が必要。
第2期	2022年度 通常指定管理による運営。	進捗していない	不用施設の解体工事等が必要。 旧スキー場の利用を含め、指定管理者と協議が必要。
	2023年度 通常指定管理による運営。		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 44 年
建物延面積	1,909.46 m ²
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	—
摘要欄	複数の施設で構成

関連条例等	大田市三瓶山周辺観光施設の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	三瓶山周辺の豊かな自然環境を生かし、市民及び観光旅行者に自然に親しむ場を提供するため、大田市三瓶山周辺観光施設(以下「観光施設」という。)を設置する。
適正化計画上の実施方針	施設は個々に必要性を検討する。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料	11,469,700円	委託料	指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	93,708円	借地料、火災保険料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		11,563,408円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-11,563,408円	市民一人あたり税金充当額	-356円/人
	延床面積あたり税金充当額		-6,056円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-31,681円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	18142	674	25490	15203	34672	18,836	184%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	緑ヶ丘キャンプ場		No.	58
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	観光・保養施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	計画期間	
無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし	策定しない場合 理由

担当部署名	産業振興部観光振興課
ブロック	三瓶
地区	志学

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	①現在使用しておらず解体が望ましい。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2025年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			現在使用しておらず解体が望ましい。
第2期	2022年度		取り組みが実施できていない	
	2023年度			
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 36 年
建物延面積	33.41 m ²
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	—
設置(目的等)	—
適正化計画上の実施方針	廃止とする

【施設の写真】

※写真無し

(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	福光会館		No.	59
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	観光・保養施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	産業振興部観光振興課
ブロック	温泉津町
地区	福波

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	①現状は地域住民が憩いの場等として、地元団体等が利用しているが、経年劣化や海風による腐食が激しく、安全上、廃止・解体が望ましい。 ※補助金適正化のため2025年度以降に解体可能							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2026年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 施設利用者、地元住民に対して施設廃止の協議を継続的に実施。		廃止に関して、一定程度の理解を得ることができた。
第2期	2022年度 施設利用者、地元住民に対して施設廃止の協議を継続的に実施。	進捗していない	憩いの場の移転先をどうするかが課題。
	2023年度 施設利用者、地元住民に対して施設廃止の協議を継続的に実施。		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 56 年
建物延面積	517.45 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市観光農林漁業経営管理施設の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	農林漁業経営の技術の改善及び教育文化の向上並びに勤労者の健康増進及び余暇活動の振興を図るため、大田市観光農林漁業経営管理施設(以下「施設」という。)を設置する。
適正化計画上の実施方針	現施設は個々に必要性を検討する。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	2,258円	火災保険料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		2,258円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-2,258円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		-4円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-6円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	みそのが丘レストハウス		No.	60
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	観光・保養施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	産業振興部観光振興課
ブロック	温泉津町
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	③地域移管
『該当する』を 選択した理由	③地元団体が主に利用しているため、地域で活用して行くことが望ましい。 ①③が実施不能の場合は、廃止を検討する。 ※平成31年3月議会にて条例廃止済み。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
 ※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
独自	利用開始							
	用途廃止・解体工事							
	評価が達成される年度	2027年度			←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況		地域移管に関しては、合意形成まで至っていない。
第2期	2022年度	庁内関係部課協議、施設利用者との協議 進捗していない	地域移管に関しては、合意形成まで至っていない。
	2023年度	庁内関係部課協議、施設利用者との協議	
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 52 年
建物延面積	576.00 m ²
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市みそのが丘レストハウスの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	市民の福祉増進を図るため、大田市みそのが丘レストハウス(以下「施設」という。)を設置する。
適正化計画上の実施方針	民間移管または地域移管を原則とする。ただし、民間移管、地域移管が困難な場合は現施設を廃止する。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	2,723円	火災保険料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		2,723円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-2,723円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		-5円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-7円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	さんべ山の家		No.	61
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	観光・保養施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	産業振興部観光振興課
ブロック	三瓶町
地区	志学

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	①使用できる状況に無く廃止・解体が望ましい。 ※平成31年3月議会にて条例廃止済み。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	評価が達成される年度	2029年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	草刈りなどの維持管理。		三瓶地区のイベント等で使用する物の倉庫になっている。
第2期	2022年度	草刈りなどの維持管理。	進捗していない	誰でも敷地内に立ち入れる状況がある。
	2023年度	草刈りなどの維持管理。 入り口部分へのフェンスの設置。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 46 年
建物延面積	1,374.71 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市さんべ山の家の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	三瓶山の自然を生かしたスポーツ、文化団体等の合宿所として、さんべ山の家を設置する。
適正化計画上の実施方針	廃止とする。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	檜島総合案内施設		No.	62
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	観光・保養施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	計画期間	
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	産業振興部観光振興課
ブロック	温泉津町
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	①利用が無いため、廃止が望ましい。 ②地域で活用策がある場合は、地域移管も視野に入れて検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2029年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			
第2期	2022年度		進捗していない	
	2023年度			
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 54 年
建物延面積	64.00 m ²
構造	鉄骨造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	—
摘要欄	土石流警戒区域内、急傾斜地の崩壊警戒区域内の立地

関連条例等	
設置(目的等)	—
適正化計画上の実施方針	地域移管を原則とする。ただし、地域移管が困難な場合は現施設を廃止する。

【施設の写真】

※写真無し

(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	895円	火災保険料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		895円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-895円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		-14円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-2円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	釜野公衆便所		No.	63	担当部署名	産業振興部観光振興課	
大分類	14その他(普通財産を含む)						
小分類	観光・保養施設						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名			計画期間		
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし	策定しない場合 理由	改定・見直し 時期	

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	①利用者が減少し、維持管理を担う地域の人口も減少しているため廃止が望ましい。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
独自	利用開始							
	用途廃止・解体工事							
	評価が達成される年度	2029年度			←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	施設管理者（地元）との協議		2019年に施設管理者（地元）と地域移管について協議したが、地元の人口減少等により不調となり、廃止について継続的な協議を実施中。
第2期	2022年度	施設管理者（地元）との協議	進捗していない	
	2023年度	施設管理者（地元）との協議		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 60 年
建物延面積	12.20 m ²
構造	鉄筋コンクリート
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	土石流警戒区域内に立地

関連条例等	—
設置(目的等)	—
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	70,066円	委託料、水道料、電気料金	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		70,066円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-70,066円	市民一人あたり税金充当額	-2円/人
	延床面積あたり税金充当額		-5,743円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-192円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	舟津トイレ		No.	64
大分類	14その他(普通財産を含む)			
小分類	観光・保養施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	計画期間	
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	産業振興部観光振興課
ブロック	仁摩町
地区	馬路

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	①老朽化により施設使用不可							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2025年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			
第2期	2022年度		取り組みが実施できていない	
	2023年度	危険箇所判定委員会へ報告済み。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 47 年
建物延面積	4.30 m ²
構造	コンクリートブロック造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	—
設置(目的等)	—
適正化計画上の実施方針	廃止とする

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	日祖トイレ		No.	65		担当部署名	産業振興部観光振興課	
大分類	14その他(普通財産を含む)							
小分類	観光・保養施設							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名			計画期間			改定・見直し 時期
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし	策定しない場合 理由	解体済み		

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する							①廃止 済
『該当する』を 選択した理由	①2019年に解体済み							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 60 年
建物延面積	15.20 m ²
構造	コンクリートブロック造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	土石流警戒区域内に立地

関連条例等	—
設置(目的等)	—
適正化計画上の実施方針	廃止とする

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	流床展望台		No.	66
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	観光・保養施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	産業振興部観光振興課
ブロック	三瓶町
地区	志学

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	①夫婦松登山道ルート上にあり、老朽化のため解体工事が必要 ※登山道中腹に位置し、工法、処分方法を検討する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	評価が達成される年度	2029年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			
第2期	2022年度	工法、処分方法の検討	進捗していない	
	2023年度	工法、処分方法の検討 危険箇所判定委員会に報告済み		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 37 年
建物延面積	20.59 m ²
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	—
設置(目的等)	—
適正化計画上の実施方針	廃止とする

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	408円	火災保険料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		408円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-408円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		-20円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-1円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	三瓶温泉管理所			No.	67	担当部署名	産業振興部観光振興課
大分類	14その他(普通財産を含む)						
小分類	観光・保養施設						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名				計画期間	改定・見直し 時期
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由	

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	三瓶温泉源泉確保のため、市が管理するものである。 ⑦建屋及び貯湯タンク、ろ過装置の老朽化が激しいため大規模改修が将来的に必要である。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2029年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 維持管理業及び維持工事を継続的実施している。		
第2期	2022年度 三瓶温泉施設高効率化改修事業として、サマーレビュー提出	目標・取り組みを達成	三瓶温泉施設高効率化に向けた計画をサマーレビューに提出。
	2023年度 温泉供給の仕組み見直しのため、温泉の施設等の調査を23年度から24年度にかけて行う。		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和38年
建物延面積	68.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	—
摘要欄	公社清算に伴い取得(平成21年度)。

関連条例等	大田市三瓶温泉使用条例
設置(目的等)	この条例は、大田市が所有する三瓶温泉の供給に関し、適正な管理運営を行うため必要な事項を定めるものとする
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	1,445,400円	分湯料	施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		1,445,400円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	691,288円	修繕料	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	4,120,127円	消耗品費、火災保険料、電話料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		4,811,415円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-3,366,015円	市民一人あたり税金充当額	-104円/人
	延床面積あたり税金充当額		-49,500円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-9,222円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	仁摩サンドミュージアム		No.	146
大分類	02社会教育系施設			
小分類	博物館・資料館			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	あり

担当部署名	産業振興部観光振興課
ブロック	仁摩町
地区	天河内

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	②民間移管
『該当する』を 選択した理由	②本施設は、仁摩地域の観光振興の中核となる施設である。令和3年度「道の駅ごいせ」の開設に伴い、施設の重要性が増してくると思われる。現時点では、現指定管理者を含め民間移管に関する協議は進捗していない。 ①施設の改修に相当の予算が必要になる可能性が高く、このまま施設を維持できるかが課題である。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
 ※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	指定管理者による運営								
評価が達成される年度		2025年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	適宜施設の改修工事を実施		
第2期	2022年度	適宜施設の修繕工事を実施 指定管理者による運営	目標・取り組みを達成	老朽箇所をはじめとした改修を行っているが、今後多額の費用を要する可能性が高い。
	2023年度	適宜施設の修繕工事を実施（危険箇所含む） 指定管理者による運営		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成2年
建物延面積	1,679.20 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	敷地内に一部急傾斜地警戒区域及び特別警戒区域あり

関連条例等	大田市仁摩サンドミュージアムの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	鳴き砂資源開発により地域の活力を生み出し、文化及び産業の振興に寄与することを目的として、大田市仁摩サンドミュージアム(以下「サンドミュージアム」という。)を設置する。
適正化計画上の実施方針	—

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料	42,273,000円	委託料	指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	3,696,000円	修繕料、工事請負費	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,247,825円	借地料、手数料、火災保険料、委託料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		47,216,825円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-47,216,825円	市民一人あたり税金充当額	-1,452円/人
	延床面積あたり税金充当額		-28,119円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-129,361円/日

(3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	あり	なし	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)		
年間利用人数	あり		47587	49412	26563	29053	39829	38,488	103%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	零ヶ浜駐車場トイレ		No.	162
大分類	14その他(普通財産を含む)			
小分類	公衆便所			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	産業振興部観光振興課
ブロック	仁摩町
地区	馬路

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	令和2年7月より浄化槽設備等が故障し、大規模改修が必要な状態となった。近隣に公衆用便所が設置されたため、管理者及び地元住民と廃止について協議中。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 地元団体による維持管理、施設修繕を継続的実施、令和2年より施設故障のため閉鎖している。		
第2期	2022年度 施設の故障に伴い、施設の在り方を地元と協議。	進捗していない	
	2023年度 施設の故障に伴い、施設の在り方を地元と協議。		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成5年
建物延面積	31.00 m ²
構造	コンクリートブロック造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	—
設置(目的等)	琴ヶ浜海岸を訪れる観光客に供するため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	413円	火災保険料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		413円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-413円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		-13円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-1円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	北の原キャンプ場①		No.	210	担当部署名	産業振興部観光振興課	
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設						
小分類	観光・保養施設						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名			計画期間		
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由	改定・見直し 時期	

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	②三瓶観光の主要施設の一つであり、将来的には民間の活力を利用して発展的な運営を図ることを目指す。 ⑦施設の老朽化が進んでおり、利用率が低い施設を廃止し、電源付サイト等建物を必要としない施設への転換を図ることを検討する。 現時点では、指定管理者と施設の在り方を再検討中であり、当面の間はインフラ施設として管理する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
 ※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
	指定管理者による運営								
評価が達成される年度		2029年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	適宜施設の修繕工事を実施		
第2期	2022年度	ケビンの調査を行い、修繕計画を立てる。 通常指定管による運営	目標・取り組みを達成	個別施設計画の策定に先立ち、ケビン改修の改修計画を立てることができた。
	2023年度	個別施設計画の策定 通常指定管による運営		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成7年
建物延面積	1,025.34 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市三瓶山周辺観光施設の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	三瓶山周辺の豊かな自然環境を生かし、市民及び観光旅行者に自然に親しむ場を提供するため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】

※写真無し

(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料	20,096,913円	委託料	指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	1,881,367円	修繕料、工事請負費	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	3,697,072円	委託料、火災保険料、その他負	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		25,675,352円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-25,675,352円	市民一人あたり税金充当額	-790円/人
	延床面積あたり税金充当額		-25,041円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-70,343円/日

(3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	あり	なし	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)		
年間利用人数			32055	36356	21896	28028	28355	29,338	96%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	北の原キャンプ場②		No.	211	担当部署名	産業振興部観光振興課	
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設						
小分類	観光・保養施設						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名		計画期間		改定・見直し 時期	
無	策定期限		今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由		

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	②三瓶観光の主要施設の一つであり、将来的には民間の活力を利用して発展的な運営を図ることを目指す。 ⑦施設の老朽化が進んでおり、利用率が低い施設を廃止し、電源付サイト等建物を必要としない施設への転換を図ることを検討する。 現時点では、指定管理者と施設の在り方を再検討中であり、当面の間はインフラ施設として管理する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
 ※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
	利用開始							
独自	用途廃止・解体工事							
	指定管理者による運営							
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	適宜施設の修繕工事を実施		
第2期	2022年度	ケビンの調査を行い、修繕計画を立てる。 通常指定管による運営	目標・取り組みを達成	個別施設計画の策定に先立ち、ケビン改修の改修計画を立てることができた。
	2023年度	個別施設計画の策定 通常指定管による運営		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成12年
建物延面積	1,870.92 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市三瓶山周辺観光施設の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	三瓶山周辺の豊かな自然環境を生かし、市民及び観光旅行者に自然に親しむ場を提供するため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】

※写真無し

(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	あり	なし	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)		
年間利用人数			32055	36356	21896	28028	28355	29,338	96%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	三瓶こもれびの広場(管理棟)		No.	212
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	観光・保養施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	計画期間	
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	産業振興部観光振興課
ブロック	三瓶
地区	山口

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	②民間移管 済
『該当する』を 選択した理由	R5.4.2民間へ譲渡済み							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
	利用開始							
独自	用途廃止・解体工事							
	指定管理者による運営							
	民間移管							
評価が達成される年度		2023年度			←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	適宜施設の修繕工事等を実施 通常指定管による運営 民間移管について指定管理者及び庁内協議		
第2期	2022年度	売却のための準備、指定管理者との協議	目標・取り組みを達成	民間移管で合意
	2023年度	周辺施設で共用している水道施設や高圧設備の費用負担について県、市、各施設で協議を進める。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成3年
建物延面積	516.79 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市森林総合利用施設三瓶こもれびの広場の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	森林の有する保健及び休養機能を活用し、自然に親しむ場を提供するため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料	2,020,000円	委託料	指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	297,000円	修繕料	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	541,317円	委託料、消耗品費、火災保険料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		2,858,317円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-2,858,317円	市民一人あたり税金充当額	-88円/人
	延床面積あたり税金充当額		-5,531円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-7,831円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	三瓶こもれびの広場(木工芸体験施設等)		No.	213
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	観光・保養施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	産業振興部観光振興課
ブロック	三瓶
地区	山口

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	観光施設としてではなく、林業教育施設として存続させる方向で検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
独自	利用開始							
	用途廃止・解体工事							
	指定管理者による運営							
評価が達成される年度		2026年度			←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応	
第1期	これまでの取り組み状況			
第2期	2022年度	適宜施設の修繕工事等を実施 観光施設としてではなく、林業教育施設として存続させる方向で検討する。	進捗していない	
	2023年度	施設について、移管もしくは廃止について現指定管理者と協議。 危険修繕。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成6年
建物延面積	632.47 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市森林総合利用施設三瓶こもれびの広場の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	森林の有する保健及び休養機能を活用し、自然に親しむ場を提供するため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料	12,944,706円	委託料	指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	52,494円	火災保険料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		12,997,200円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-12,997,200円	市民一人あたり税金充当額	-400円/人
	延床面積あたり税金充当額		-20,550円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-35,609円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	北の原別荘地水道施設			No.	214
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設				
小分類	観光・保養施設				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由

担当部署名	産業振興部観光振興課
ブロック	三瓶
地区	山口

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	◆インフラ施設扱い
『該当する』を 選択した理由	北の原別荘地のみに供給される水道施設であるため、民間移管の検討の必要がある。老朽化した施設の在り方と別荘地所有者の協議等整理が必要である。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	用途廃止・民間移管								
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	通常の修繕、維持管理		2018年度、島根県西部地震の影響により貯水槽が破損し修繕工事を実施。
第2期	2022年度	通常の修繕、維持管理	目標・取り組みを達成	
	2023年度	通常の修繕、維持管理		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和60年
建物延面積	3.20 m ²
構造	コンクリートブロック造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	—
設置(目的等)	—
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】

※写真無し

(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	2,388円	火災保険料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		2,388円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-2,388円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		-746円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-7円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	名号ヶ丘別荘地ポンプ小屋		No.	230
大分類	14その他(普通財産を含む)			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	計画期間	
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	産業振興部観光振興課
ブロック	三瓶
地区	志学

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	②民間移管
『該当する』を 選択した理由	本施設は、民間施設である北の原別荘地の送水のための施設である。民間施設への送水を目的としており民間移管が適当である。なお、当該施設は老朽化しており適切に運用するためには修繕工事等の実施が必要であると思われる。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
独自	利用開始							
	用途廃止・解体工事							
	用地廃止・民間移管							
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	通常の修繕、維持管理		
第2期	2022年度	通常の修繕、維持管理	目標・取り組みを達成	
	2023年度	通常の修繕、維持管理		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和60年
建物延面積	3.20 m ²
構造	コンクリートブロック造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	—
設置(目的等)	三瓶高原北の原名号ヶ丘別荘地への給水のため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	30円	火災保険料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		30円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-30円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		-9円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	やきものの里		No.	215	担当部署名	産業振興部観光振興課	
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設						
小分類	観光・保養施設						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名			計画期間		
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由	改定・見直し 時期	

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	②民間移管
『該当する』を 選択した理由	温泉津町の主要な観光施設であり、民間の活力を利用して発展的な運営を図るため。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
	用途廃止・民間移管								
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	適宜施設の修繕工事等を実施		
第2期	2022年度	適宜施設の修繕工事等を実施 通常指定管理による運営	目標・取り組みを達成	
	2023年度	適宜施設の修繕工事等を実施 通常指定管理による運営		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和64年
建物延面積	1,200.58 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市やきものりの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	窯業の歴史を保存し、継承するとともに、観光旅行者の利便の増進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料	8,657,375円	委託料	指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	762,667円	工事請負費	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	10,457円	火災保険料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		9,430,499円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-9,430,499円	市民一人あたり税金充当額	-290円/人
	延床面積あたり税金充当額		-7,855円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-25,837円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	龍源寺管理棟		No.	216	担当部署名	産業振興部観光振興課	
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設						
小分類	観光・保養施設						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名			計画期間		
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし	策定しない場合 理由	令和2年度屋根替え工事等が実施されており近々での改修計画がないため	

担当部署名	産業振興部観光振興課
ブロック	高山
地区	大森

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	③地域移管
『該当する』を 選択した理由	指定管理制度導入等を検討しつつ、大田市直営施設として運営するため。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
	指定管理者による運営								
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	適宜施設の修繕工事等を実施 直営施設として運営 指定管理制度の導入を検討		
第2期	2022年度	庁内関係部課との協議 指定管理について、地域と協議を進める	目標・取り組みを達成	23年度より指定管理開始
	2023年度	指定管理による運営		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成1年
建物延面積	68.22 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市石見銀山龍源寺間歩の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	貴重な文化遺跡である龍源寺間歩を一般に公開し、もって大田市の文化の振興に資するため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	394,900円	修繕料	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	3,712,443円	手数料、消耗品費、燃料費、光	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		4,107,343円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-4,107,343円	市民一人あたり税金充当額	-126円/人
	延床面積あたり税金充当額		-60,207円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-11,253円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	石見銀山公園休憩所(兼観光案内所)		No.	217
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	観光・保養施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名	計画期間	改定・見直し 時期
無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし	策定しない場合 理由

担当部署名	産業振興部観光振興課
ブロック	高山
地区	大森

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	②民間移管
『該当する』を 選択した理由	現在、観光協会に利用されているが、十分な活用とは言えず、将来的な廃止も含めて施設の在り方を再検討する必要があるため。 都市計画課の施設。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
	用途廃止・民間移管								
評価が達成される年度		2029年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	通常の維持管理。		
第2期	2022年度	通常の維持管理。	目標・取り組みを達成	
	2023年度	通常の維持管理。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成21年
建物延面積	112.64 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	—
設置(目的等)	石見銀山を核とした大田市観光の拠点として来訪者の利便性を高め、観光協会の機能を強化するため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,489円	火災保険料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,489円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-1,489円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		-13円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-4円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大森小学校前休憩所			No.	218
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設				
小分類	観光・保養施設				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由

担当部署名	産業振興部観光振興課
ブロック	高山
地区	大森

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	③地域移管
『該当する』を 選択した理由	簡易な建物であるため維持管理に負担が生じず、また、石見銀山観光の要所に位置しているため廃止の方向では検討しない。今後は、地域移管も含めて検討していく必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	通常の維持管理								
	用途廃止・民間移管								
評価が達成される年度		2029年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	通常の維持管理		
第2期	2022年度	通常の維持管理	目標・取り組みを達成	
	2023年度	通常の維持管理		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成21年
建物延面積	13.50 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	—
設置(目的等)	銀山地区及び龍源寺間歩方面における歩きやすい環境を整えるため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,030円	火災保険料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,030円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-1,030円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		-76円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-3円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	龍昌寺前休憩所		No.	219	担当部署名	産業振興部観光振興課	
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設						
小分類	観光・保養施設						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名			計画期間		
無	策定期限		今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由		
					改定・見直し 時期		

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	③地域移管
『該当する』を 選択した理由	簡易な建物であるため維持管理に負担が生じず、また、石見銀山観光の要所に位置しているため廃止の方向では検討しない。今後は、地域移管も含めて検討していく必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	通常の維持管理								
	用途廃止・民間移管								
評価が達成される年度		2029年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	通常の維持管理		
第2期	2022年度	通常の維持管理	目標・取り組みを達成	
	2023年度	通常の維持管理		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成21年
建物延面積	12.96 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	—
設置(目的等)	銀山地区及び龍源寺間歩方面における歩きやすい環境を整えるため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	978円	火災保険料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		978円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-978円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		-75円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-3円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	西の原レストハウス		No.	220	担当部署名	産業振興部観光振興課	
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設						
小分類	観光・保養施設						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名			計画期間		
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由	改定・見直し 時期	

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	②民間移管
『該当する』を 選択した理由	三瓶観光の主要な観光施設であり、民間の活力を利用して発展的な運営を図るため。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	指定管理による運営								
	用途廃止・民間移管								
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	適宜施設の修繕工事等を実施		
第2期	2022年度	適宜施設の修繕工事等を実施 通常指定管理による運営	目標・取り組みを達成	
	2023年度	適宜施設の修繕工事等を実施 通常指定管理による運営		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成7年
建物延面積	412.52 m ²
構造	鉄骨造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市三瓶山周辺観光施設の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	三瓶山周辺の豊かな自然環境を生かし、市民及び観光旅行者に自然に親しむ場を提供するため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料	1,378,300円	委託料	指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	247,995円	手数料、その他負担金、火災保険料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,626,295円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-1,626,295円	市民一人あたり税金充当額	-50円/人
	延床面積あたり税金充当額		-3,942円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-4,456円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	櫛島レストハウス		No.	221	担当部署名	産業振興部観光振興課	
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設						
小分類	観光・保養施設						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名			計画期間		
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由	改定・見直し 時期	

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	②民間移管
『該当する』を 選択した理由	温泉津町の主要な観光施設であり、民間の活力を利用して発展的な運営を図るため。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
	利用開始							
独自	用途廃止・解体工事							
	用途廃止・民間移管							
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	レストハウス及びキャンプ場内の照明改修工事を実施 通常業務委託による運営		
第2期	2022年度	適宜施設の修繕等を実施 7月～8月末まで通常業務委託による運営、それ以外の月は実証実験により通年運営	目標・取り組みを達成	民間移管に向け実証実験を実施した。 移管については難色を示しており、今後あり方や運営をどうしていくか検討が必要。
	2023年度	適宜施設の修繕等を実施 7月～8月末まで通常業務委託による運営、それ以外の月は実証実験により通年運営		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成18年
建物延面積	175.92 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市櫛島レストハウスの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	櫛島周辺の自然を生かした海洋レジャーの拠点施設及び来訪者の便益施設として活用するため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	1,120,540円	使用料	施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	126,960円	光熱水費、電話使用料	使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		1,247,500円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	190,666円	工事請負費	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,068,631円	委託料、手数料、火災保険	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,259,297円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-11,797円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		-67円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-32円/日

(3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	あり	なし	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)		
年間利用人数			526	618	773	693	1231	768	160%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	温泉津ゆう・ゆう館			No.	222
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設				
小分類	観光・保養施設				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	産業振興部観光振興課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当する	該当する	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	現在、大田市観光協会温泉津案内所として活用されているが、利用率の向上等を図るため、地元企業等への貸出し等も含めて施設の在り方を再検討する必要があるため。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	通常の維持管理								
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	通常の維持管理 大田市観光協会による案内業務		
第2期	2022年度	通常の維持管理 大田市観光協会による案内業務	進捗していない	
	2023年度	通常の維持管理 大田市観光協会による案内業務 施設の在り方を再検討		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成6年
建物延面積	220.50 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市やすらぎ観光施設の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市温泉津町伝統的建造物群保存的における歴史及び文化を保存、継承するとともに観光旅行者の利便性を図り、市民と観光旅行者の交流の場の拠点とするため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金	372,252円	県補助金	国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	43,788円	電気料金負担金	使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計	416,040円		※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	1,613,260円	修繕料、工事請負費	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	2,147,476円	委託料、火災保険料、リース	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計	3,760,736円		※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-3,344,696円	市民一人あたり税金充当額	-103円/人
	延床面積あたり税金充当額		-15,169円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-9,164円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	三瓶小豆原縄文の森公園			No.	223			
大分類	11公園							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名			計画期間		改定・見直し 時期	
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	なし	策定しない場合 理由	施設の在り方を再検討し、方針決定後に策定するため	

担当部署名	産業振興部観光振興課
ブロック	三瓶
地区	多根

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	猪被害、河川の荒廃に伴い、施設の機能が低下している。隣接する県施設である小豆原埋没林公園は、日本遺産事業のビジターセンターの役割を担う施設であり、近隣施設への影響を鑑み、適正規模での維持管理が適当である。適正規模については、今後、検討が必要である。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	通常の維持管理								
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	通常の維持管理、修繕工事		
第2期	2022年度	通常の維持管理 施設の在り方再検討	進捗していない	施設の在り方の再検討が必要
	2023年度	通常の維持管理、修繕工事、柵の設置 施設の在り方再検討		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成16年
建物延面積	49.94 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市三瓶小豆原縄文の森公園の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	縄文時代に思いをはせ、自然とふれあい、自然を学習する場を確保するため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	82,500円	委託料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		82,500円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-82,500円	市民一人あたり税金充当額	-3円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,652円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-226円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	魚津公衆便所		No.	224
大分類	14その他(普通財産を含む)			
小分類	公衆便所			
個別施設計画(長寿命化計画)の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画)マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	計画期間	
無	策定期限	今後の策定予定の有無	あり	策定しない場合理由

担当部署名	産業振興部観光振興課
ブロック	西部
地区	静間

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる施設評価チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	③地域移管
『該当する』を選択した理由	日本遺産の構成文化財である静之窟の近隣公衆用便所として利用されている。施設の老朽化の進捗によっては廃止を検討する必要がある。また、現在、維持管理を行っている地元団体等への移管も検討する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期(2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	通常の維持管理								
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	通常の維持管理		
第2期	2022年度	通常の維持管理	目標・取り組みを達成	
	2023年度	通常の維持管理		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成3年
建物延面積	9.80 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	—
設置(目的等)	魚津海岸を訪れる観光客に供するため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	107,800円	修繕料	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	93,273円	委託料、火災保険料、電気料金	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		201,073円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-201,073円	市民一人あたり税金充当額	-6円/人
	延床面積あたり税金充当額		-20,518円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-551円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	福光公衆便所		No.	225	担当部署名	産業振興部観光振興課	
大分類	14その他(普通財産を含む)						
小分類	公衆便所						
個別施設計画(長寿命化計画)の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画)マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名			計画期間		
	無	策定期限	今後の策定予定の有無	あり	策定しない場合理由	改定・見直し時期	

担当部署名	産業振興部観光振興課
ブロック	温泉津
地区	福波

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる施設評価チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を選択した理由	現在、地元団体により維持管理業務が実施され、福光海岸利用者に利用されている。今後の福光海岸の利用状況によっては、廃止もしくは民間移管を含めて在り方を再検討する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期(2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	通常の維持管理								
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	地元団体への委託による維持管理 修繕等		
第2期	2022年度	地元団体への委託による維持管理 修繕等	目標・取り組みを達成	老朽化が進んでいる。 県内外から、サーファーが利用するようになっており、夏以外のシーズンでも利用されている様子。
	2023年度	地元団体への委託による維持管理 修繕等		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成8年
建物延面積	36.00 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	—
設置(目的等)	福光海岸を訪れる観光客に供するため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	196,574円	委託料、火災保険料、水道料、電気料金	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		196,574円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-196,574円	市民一人あたり税金充当額	-6円/人
	延床面積あたり税金充当額		-5,460円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-539円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	鳥井海水浴場施設		No.	226	担当部署名	産業振興部観光振興課	
大分類	14その他(普通財産を含む)						
小分類	その他						
個別施設計画(長寿命化計画)の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画)マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名			計画期間		
	無	策定期限	今後の策定予定の有無	あり	策定しない場合理由	改定・見直し時期	

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる施設評価チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当する	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を選択した理由	当該施設は、鳥井海岸に隣接する公衆用便所、シャワー施設、倉庫からなる施設である。休止中のシャワー施設等の廃止、維持管理を受託する民間団体への移管も含め施設の在り方を再検討する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期(2028~2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
独自	利用開始							
	用途廃止・解体工事							
	通常の維持管理							
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	通常の維持管理		
第2期	2022年度	通常の維持管理	目標・取り組みを達成	
	2023年度	通常の維持管理		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成6年
建物延面積	44.88 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	—
設置(目的等)	鳥井海岸を訪れる観光客に供するため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	11,000円	修繕料	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	147,545円	委託料、火災保険料、電気料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		158,545円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-158,545円	市民一人あたり税金充当額	-5円/人
	延床面積あたり税金充当額		-3,533円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-434円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	韓島休憩所		No.	227
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	観光・保養施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	産業振興部観光振興課
ブロック	仁摩
地区	宅野

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	③地域移管
『該当する』を 選択した理由	当施設は、離島に設置されており、利用に関しては特定少数の状況である。今後、利用拡大が望めないため、地域移管を基本とし希望がない場合は廃止を検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	地元利用者による維持管理		市では近年特段の維持管理は実施していない
第2期	2022年度	地元利用者による維持管理	目標・取り組みを達成	基礎部分の砂利が一部流出しているため、注意が必要。
	2023年度	地元利用者による維持管理		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成13年
建物延面積	31.05 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市韓島休憩所の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	海に囲まれた自然の島で、人々が親しみ、ふれあう場とするため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	2,698円	火災保険料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		2,698円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-2,698円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		-87円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-7円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	琴ヶ浜展望台			No.	228
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設				
小分類	観光・保養施設				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由

担当部署名	産業振興部観光振興課
ブロック	仁摩
地区	馬路

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	当施設は、地域行事等で活用されていたが、近年利用率が著しく低下している。今後、日本遺産事業において構成資産である琴ヶ浜の利活用によっては、廃止もしくは地域移管も含め施設の在り方の再検討する必要がある。 老朽化が進んでおり、使用中止中。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	評価が達成される年度	2025年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	支障木撤去		
第2期	2022年度	維持管理	目標・取り組みを達成	施設の老朽化が進んでいる。
	2023年度	維持管理 あり方の検討 施設の利用中止		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成3年
建物延面積	25.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市琴ヶ浜展望台の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	琴ヶ浜海岸の美しい景観を広く宣伝するとともに、自然保護意識の高揚を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,299円	火災保険料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,299円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-1,299円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		-52円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-4円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	西の原水源中間タンクポンプ小屋		No.	229
大分類	14その他(普通財産を含む)			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	計画期間	
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	産業振興部観光振興課
ブロック	三瓶
地区	池田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	◆インフラ施設扱い
『該当する』を 選択した理由	当該施設は、西の原レストハウスに送水する目的の施設である。西の原レストハウスまでの距離が長大であり、今後の維持管理が困難となることが予想される。西の原レストハウスの水源を井戸造成等により確保できた場合は、廃止することが適当である。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	評価が達成される年度	2025年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	維持管理		
第2期	2022年度	維持管理	目標・取り組みを達成	ポンプや制御ケーブルの老朽化。 制御ケーブル取替。 建物が西の原レストハウスから離れており、管理の目が行き届かない。
	2023年度	維持管理		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成6年
建物延面積	5.50 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	—
設置(目的等)	西の原レストハウスへの給水のため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	698,500円	修繕料	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	720円	火災保険料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		699,220円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-699,220円	市民一人あたり税金充当額	-22円/人
	延床面積あたり税金充当額		-127,131円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-1,916円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	三瓶ダム周辺施設			No.	231
大分類	14その他(普通財産を含む)				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由

担当部署名	産業振興部観光振興課
ブロック	三瓶
地区	多根

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	③地域移管
『該当する』を 選択した理由	現在、地域団体が指定管理制度を適用し維持管理及び運営を行っているが、指定管理者も高齢化しており今後の施設管理は難しくなるとしている。島根県が整備した施設であるため、県との協議が必要である。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	指定管理者による運営								
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	適宜施設の修繕工事等を実施 通常指定管理による運営		
第2期	2022年度	管理棟屋根塗替実施 通常指定管理による運営	目標・取り組みを達成	指定管理者である報徳会もメンバーが高齢化しており、施設全体の維持管理が困難な状況。新たな、管理者の検討を島根県と連携して行う必要がある。
	2023年度	適宜施設の修繕工事等を実施 通常指定管理による運営		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成8年
建物延面積	171.72 m ²
構造	軽量鉄骨造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市三瓶ダム周辺施設の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	三瓶ダム周辺の豊かな自然環境を生かし、市民及び観光旅行者に自然に親しむ場を提供するため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金	1,295,800円	県委託金	国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		1,295,800円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料	2,429,791円	委託料	指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	25,759円	火災保険料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		2,455,550円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-1,159,750円	市民一人あたり税金充当額	-36円/人
	延床面積あたり税金充当額		-6,754円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-3,177円/日

(3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	あり	なし	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)		
年間利用人数	983	835	602	518	357	659	54%		